

学校間ネットワークから地域協育ネットへ

～学校支援地域本部事業と小中連携を核にした取組～ 【周南市 周陽中学校区】

地域の概要

周陽中学校区は周陽、桜木、遠石の3つの小学校区からなり、周南市の中央部、国道2号線バイパス沿いに位置します。市の総合スポーツセンターや野球場、陸上競技場などのスポーツ施設や、大規模な緑地公園もあり、教育環境・自然環境に恵まれた地域です。

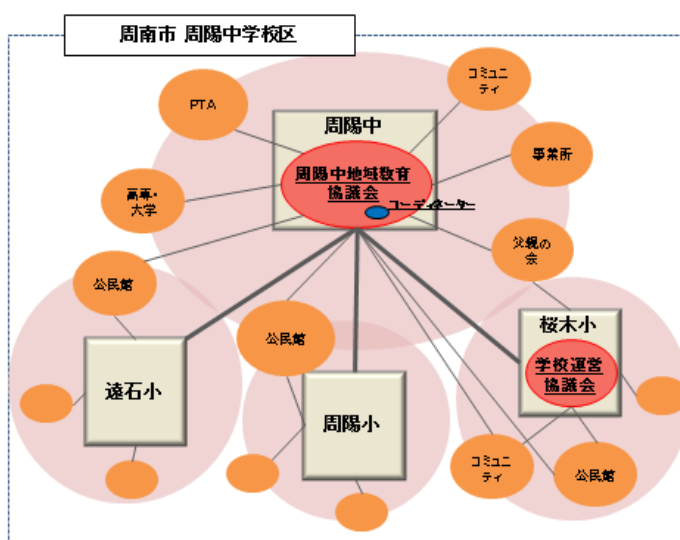
公民館主催による行事や、地域の社会教育活動、学校のPTA活動も活発に行われており、人々が深い絆で結ばれている地域でもあります。

人口	16,517人	
世帯数	7,512世帯	
対象校及び 児童・生徒数	周陽中学校	514人
	周陽小学校	412人
	桜木小学校	346人
	遠石小学校	451人

※遠石小学校からは約5割の児童が周陽中学校に入学する。

組織の内容

周陽中学校は、キャリア教育を積極的に推進しており、小・中学校間はもとより、地域、事業所、高等教育機関等との連携を深めています。平成23年度からは学校支援地域本部事業を活用して、保護者や地域住民とのさらなる連携強化を図っています。地域教育協議会は、地区コミュニティ、公民館、PTA、父親の会、事業所、高等教育機関などで構成されています。多くの方に「学校支援ボランティア」登録を呼びかけ、現在18名が登録、校外、校内のコーディネーターが、それぞれの分野で活動しています。



桜木小学校は、平成18年度に学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールです。協議会は、学校・家庭・地域の協働を促すシステムとして、学校支援ボランティア構築の場として機能しており、総合的な学習の時間での協働、図書室の整備や読み聞かせ、校内環境整備などで、地域ボランティアによる学校支援が行われています。参観日と地区文化祭が小学校を会場に同日開催される「桜木フェスティバル」は、校区内の様々な組織と学校が連携して実施しています。周陽小学校は、めざす学校像の一つを「開かれた学校」として、家庭や地域との連携・協力を進めています。教育活動における連携だけでなく、スクールガード・ボランティアなど、地域から学校への支援も行われています。遠石小学校では、家庭・地域との連携を密にした教育活動が行われています。地域住民や育友会を中心にした登下校の見守り活動やあいさつ運動などが行われています。地域行事への育友会の協力や、児童によるキッズボランティアとしての参加もあります。

このように、周陽中学校区内各校は、地域の特色を生かし、地域や家庭、関係機関との連携を図っており、小中連携についても、9年間の子どもたちの育ちを見守る体制づくりに努めています。周陽中地域教育協議会を推進母体とした体制については、コーディネーターの活動範囲が広がっており、各校PTAやおやじの会、公民館等との連携を進めているところです。

主な活動の紹介

○周陽中学校支援地域本部の活動

- ・環境整備・・・花の植え替え、落ち葉拾い、トイレ清掃 等
- ・学習支援・・・総合的な学習、特別活動補助、行事補助（運動会練習、文化祭 等）、長期休業中の学習指導
- ・部活動指導・・・卓球部
- ・伝統文化指導・・・茶道指導、生け花指導、和太鼓指導
- ・キャリア教育・・・あいさつ運動、5日間の職場体験、福祉体験 等



大学生による運動会補助



花の植え替え



トイレ清掃



茶道指導



あいさつ運動

○小中連携の活動

- ・小中連携協議会の開催（年4回）
- ・各小学校への中学校教員による出前授業（学期1回）
- ・各小学校児童の中学校訪問
- ・相互参観
- ・実務者による定期的な話し合い

今後の取組

平成 24 年度に、周南市内全小・中学校に学校運営協議会が設置されます。それぞれの学校がコミュニティ・スクールとして地域と共に機能することで、これまでの取組が「地域全体で子どもの育ちや学びを支える」という視点で整理・再構築され、新しい協働が生まれてくると考えています。

地域協育ネットを推進していく上で、概ね中学校区を単位とした学校間の密な連携は不可欠です。これまで、児童・生徒・保護者・教員による学校教育の枠組みの中での実践は活発に行われていますが、今後は、コミュニティ・スクールを軸にして、「地域との連携」を「小中連携」の分野に加えていくことで、中学校区全体のネットワークが形作られていくのではないかと考えられます。

平成 24 年度からは、周陽中学校の学校支援コーディネーターが、地域行事における中学生ボランティアのコーディネートを行い、校区内のPTAや父親の会などと交流をもつなど、活動の場を地域や他校へも広げ、各校の地域連携担当者同士の連携も進めていきます。

コーディネーターさんにインタビュー

Q：コーディネーターとして、初めての一年間はいかがでしたか？

A：何をやれば良いのか見当がつかず、手探りの一年でした。

Q：活動をやっていく上で、一番心がけていることは何ですか？

A：生徒とともに活動する時は、生徒の気持ちになってやることです。学校の環境整備については、見た目が気持ちよくなるようにすることです。

Q：今年一年間の一番の成果は何だと思えますか？

A：荒れていた花壇をきれいにできたことです。

Q：解決していきたい課題は何ですか？

A：地域の人とどのようにかかわっていけばよいのかということです。